

GR Garage 浦和美園

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

プロフェッショナルシリーズ第2戦

クラブマンシリーズ第2戦

5月24日(土)～25日(日)

モビリティリゾートもてぎ(栃木県茂木町)



GR Garage 浦和美園 CAMP レポート

GR86/BRZ Cup の第2戦がモビリティリゾートもてぎで行われました。プロフェッショナルシリーズにはGBドライバーの吉田広樹選手と渡辺圭一選手が出場。クラブマンシリーズには大森和也選手が出場しました。エントリー台数はそれぞれ31台、48台です。本大会は土曜日に15分間の予選、日曜日に10週の決勝を行うスケジュール。吉田選手は水曜日、渡辺選手と大森選手は木曜日から走行開始。本番に向けて、GR86のセットアップを進めます。

土曜日(予選日)の天候は曇り。最初に行われたのがクラブマンシリーズの予選で、B組に大森選手が出場しました。大森選手はコースの混雑状況を慎重に見極めてからコースイン。2周目に2分17秒194をマークし、B組4位につけました。B組1位が総合トップとなったため、規定により7番グリッドを獲得。続けて行われたプロフェッショナルシリーズの予選では吉田選手、渡辺選手の順にコースイン。残りは4分程度で、1周のみのアタックです。アタックに向けて高速で最終コーナーに進入する2台ですが、吉田選手は挙動を乱しスピン。クルマに大きなダメージを負っており、アウト側にストップします。このアクシデントにより、最終コーナーでは黄旗が提示され、渡辺選手を含む、23人のタイムが無効に。吉田選手は計測なし、渡辺選手はノータイムという結果でした。審査委員会の裁定により、ノータイムの選手は第1戦の着順でグリッドに並べられることになり、第1戦に出場していない渡辺選手は29番グリッドスタートに。吉田選手の160号車はパドックでの修復が難しく、悔しいリタイアとなりました。

日曜日(予選日)の天候も曇り。雨は朝方には上がりましたが、路面は濡れており、クラブマンシリーズの決勝はウエットコンディションで行われました。大森選手はアウト側の7番グリッドから好スタート。1台抜き、6位で1周目を終えます。大森選手は4台による第2集団の2番目を走行し、大西選手(557号車)を追います。なんとか大西選手に仕掛けたい大森選手ですが、決定的なチャンスがないままレースは終盤へ。フィナルラップ時点での2台の差はコンマ4秒まで縮まりますが、順位は変わらず6位チェッカー。レース後、上位の選手にペナルティが与えられたため、正式結果は5位。開幕戦に続き2戦連続でポイントを獲得しました。また、プロフェッショナルシリーズの決勝では渡辺選手が29番グリッドから順当なスタート。1コーナーで1台抜き、追い上げ態勢に入りますが、5コーナー手前でギアが入らなくなるトラブルが発生。スロー走行のままピットに戻り、0周リタイアとなりました。次戦は6月14日～15日SUGO。渡辺選手も出場予定になっており、3人の巻き返しにご期待ください。

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ
#160 GRG 浦和美園 IDI BS GR86

吉田広樹選手 決勝 一位

予選 計測できず

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ
#522 GRG 浦和美園 CAMP IDI GR86

大森和也選手 決勝 5位

予選 B組 4位 (2分17秒194) 7番グリッドスタート

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ
#8 ジェイ・シー・エス GR 浦和美園 GR86

渡辺圭一選手 決勝 0周リタイア

予選 No Time (嘆願書により29番グリッドスタート)



DRIVERS VOICE/MECHANIC VOICE

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

吉田広樹選手

アタックを始める周の最終コーナーでクラッシュしてしまいました。自分のミスが原因で、改善しなければならない部分だと思いました。コースイン直後の位置取り争いの関係で、タイヤのウォームアップができずに起きたことなので、場所取りは大事ですが、何を優先するべきか、考えが浅かったと思っています。専有走行のタイムも良く、チームがいいクルマを作ってくれたのに戦う舞台にも上がることができず、申し訳ないと思っています。結果として黄旗をつくってしまい、アタックしていた他の選手の結果に影響をおよぼしてしまったので、選手や関係者にも申し訳なかったと思います。

渡辺圭一選手

スタートは決まって1コーナーまでに1台パスしました。3コーナ手前でシフトダウンした時にギアが入らず、ミッションがブローしてしまいました。入るギアを探してピットに戻り、リタイヤとなりました。今週末は自分にとっての初戦で、木曜日から徐々に速くなりつつあるのをすごく感じていました。コースインした時のクルマのフィーリングも良く、最後まで走り切ったらいけるなという印象だったので、なおさら悔しいというところです。新しいタイヤにも慣れ、クルマに対する理解も深まりましたし、自分の課題も明確になったので、次のSUGOで取り返したいと思います。

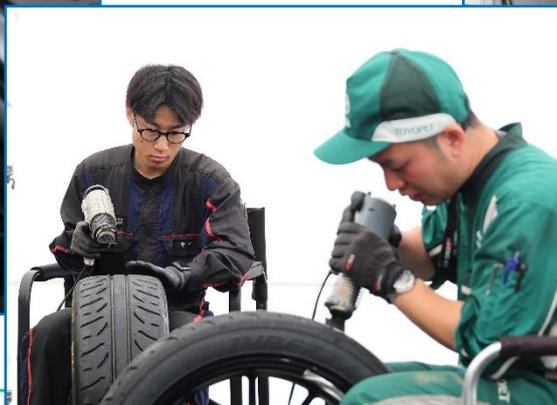
GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

大森和也選手

スタートは良かったのですが、1コーナーで頑張り過ぎて、アウト側の濡れているところを走ってしまい、抜かれそうになりました。3コーナーで頑張り、4コーナーで6位に上がることができました。それ以降はまわりの様子を見ていたのですが、大西選手よりはペースが良さそうで、どこかで抜ければ前に行けそうでした。仕掛けたいのですが、ミスがあれば後ろに抜かれてしまうので、むやみに仕掛けられない状況でした。決勝のペースは悪くないと思うのですが、予選がいつもあと一歩足りません。開幕戦でぼくより上位だった人が下位にいるので、トータルで見ると悪くなかったと思います。

戸田支店・上田勇貴

渡辺選手の8号車を担当しました。レースの現場は普段の店舗では経験できないので、すごくいい機会です。緊張しつつも、楽しさが上回っている感じです。もともとレーシングカーが好きなので、自分も86に乗っているのが、カスタムの参考になります。レースの魅力はチーム一丸となり、ひとつの目標に向かっていくところだと思います。レース中、クルマが120%の状態ですごく酷使されるので、1回1回、厳しい目でチェックし、その場で整備することは店舗でも役に立つと思います。



PARTNERS



有限会社アイ・ディ・アイ



株式会社カーグラス・JP



K-one



埼玉スリーボンド株式会社



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社

トヨタ モビリティパーツ株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ブリヂストン



株式会社ミノルインターナショナル



Mechanix Wear LLC



株式会社リキテック



レカロ株式会社

SPECIAL THANKS

